



リノベーションの可能性を広げ、  
暮らしの在り方に希望を与えたい。

株式会社 takemo

竹本 幸貴さん (鮎貝在住)



今回ご紹介するのは、リノベーション事業を手がけ、理想の暮らしを叶えるために、さまざまなアイデアとプランを提供している竹本幸貴さんです。

竹本さんは、山形市の東北芸術工科大学を卒業後、隣県にあるリノベーション会社に就職。その会社は、業界で東北一の業績を誇り、10数年のうちに急成長を遂げた企業でしたが、半面、業務過多により、現場では顧客に注ぐ余裕がなく、部下や後輩のクレーム対応に追われることも珍しくありませんでした。人に大きな感動を与える仕事のはずなのに、1軒1軒安定して喜びを届けられないことに違和感を持つことがきっかけとなり起業を決断。そして、妻の出身地である白鷹町に移住し、2022年に株式会社 takemo を設立。現在は、山形市と白鷹町に事務所を構えています。

竹本さんが仕事で大切にしていることは、お客さまとの距離感です。「私は相談窓口から設計、積算、現場管理、アフターフォローまですべてを手がけています。お客さまと一緒に作り上げるという思いを大切にすることで、完成し

畔藤地内Hさま邸での実績！  
理想の暮らしを叶えます！



た時の喜びと感動を一緒に味わうことができ、やりがいはとても大きいです」と語る竹本さん。

白鷹町には、令和4年度時点で約900棟もの空き家があります。その現状に竹本さんは、「家は必ずしも新築でなければならぬという訳ではありません。家族の思い出がたくさん詰まった家を、今の生活スタイルにあった形に変えるという意味では、リノベーションには素晴らしい価値があります。リノベーションがどんなものなのかまだ浸透していない課題もあり、今後はリノベーションの魅力を伝え、今ある家を大切にしてくれる人が増えることを願っています」とリノベーションにかける強い思いを語ってくれました。



この町で素敵な「未来」を描く方をご紹介します。